

## 記入例

### 平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業 応募申請書

平成〇〇年〇月〇〇日

国土交通省 国土政策局  
地方振興課長 殿

(応募団体住所) 〇〇県〇〇市〇〇△-△-△  
(応募団体名) 〇〇地域〇〇協議会  
(代表者氏名) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

#### □□地域における〇〇を活用した△△の開発に対する中間支援活動

上記の事業について、下記の資料を添えて、応募申請致します。

- ・様式 1 : 応募団体概要書
- ・様式 2 : 中間支援活動の計画
- ・様式 3 : 内容審査評価表 (中間支援活動)
- ・様式 4 : 地域づくり活動の事業計画
- ・様式 5 : 内容審査評価表 (地域づくり活動)
- ・様式 6 : 必要経費の内訳
- ・様式 7 : 全体収支計画
- ・様式 8 : 他の補助・支援事業等
- ・添付資料 : 地域づくり活動支援体制の規約等 (又はその案) の写し  
: 地域づくり活動支援体制にて定める賃金の規定・謝金規定・旅費規定  
写し

(担当部署) 〇〇〇〇〇〇〇〇  
(役 職) 〇〇〇〇〇〇〇〇  
(担当者氏名) 〇〇〇〇〇〇  
(電話番号) 〇〇〇〇〇〇〇〇  
(E-mail) 〇〇〇〇〇〇〇〇

平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <応募団体概要書>

項目	記入欄	
(ふりがな) 応募団体名	〇〇地域〇〇協議会	
(ふりがな) 事務局所在地	〇〇県〇〇市〇〇△-△-△	
設立年月日 (設立予定)	平成〇年〇月〇日	
(予定) 代表者	(所属団体名) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (役 職) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (氏 名) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
各構成主体	構成主体	代表者
	NPO法人〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	△△信用金庫	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	□□市	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇町	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	××村	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
規約等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 作成中 (どちらかに〇を付けてください)	
	<b>【目的】</b> □□地域における地域活性化、地域の課題解決のため〇〇〇新規事業の創設、雇用の増加等を目的に〇〇〇する。 <b>【事業内容】</b> □□地域は△△な特徴があり、これを活かし〇〇を開発し、ひいては新たなビジネスを〇〇〇する。 <b>【活動エリア】</b> 活動エリアは□□市、〇〇町、××村の範囲とする。 <b>【事務処理及び会計処理の方法】</b> 事務処理及び会計処理は、〇〇〇の事務局であるNPO法人〇〇が〇〇〇する。	
各構成主体の 中間支援実績	構成主体名	中間支援実績 (実施年度、支援内容、成果など)
	NPO法人〇〇	H23~24にNPO◆◆の販路開拓支援を実施。売上額を前年度から20%増やした。
	△△信用金庫	H25は〇〇を行うNPO◆◆や〇〇を行うNPO××の事業計画策定支援を5件実施。うち2件はH26に事業化予定。
	□□市役所	地域づくりに関連したセミナーを毎年〇回実施。そのセミナーを通して〇〇等の情報の蓄積を行っている。

※枚数制限はありませんが、簡潔かつ具体的に記載してください。

地域づくり活動支援体制が構築見込みの場合はその旨が分かる記載をしてください。

平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <中間支援活動の計画>

項目	記入欄
<p>中間支援活動の内容等</p>	<p><b>【事業名】</b>                  □□地域における〇〇を活用した△△の開発に対する中間支援活動</p> <p><b>【中間支援活動の内容】</b>                  □□地域における特産野菜である〇〇を用いて、新商品を開発しようとしている NPO☆☆に対して支援を行う。本体制には商品開発のための成分分析等を行うことができる研究所との連携した実績があり〇〇〇〇を行う。                  また、販売促進支援として〇〇〇地域金融機関においては、過去に小売店への出店の支援実績があることから〇〇〇〇を行う。□□市役所においては定期的に開催しているセミナーを通じて、本事業の関連者を抽出するとともに〇〇〇〇を行う。</p> <p><b>【地域づくり活動の自立・継続に向けた支援の考え方】</b>                  本体制が行う中間支援活動は〇〇〇〇のような形で地域づくり活動団体は自ら事業収入によって資金を確保することができるが見込まれる。本体制からの中間支援が終了した後も〇〇〇〇のような理由から自立して活動を行うことができる見込みがある。</p>
<p>支援活動フロー                  (平成 26 年度)</p>	<p><b>【フロー図】</b> (下図は一例であり、書き方は自由です。)</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     (取組1) 地元特産野菜を使った新規商品開発支援                      【地元特産品野菜である〇〇に△△を加え、□□の商品として開発する】                 </div> <div style="font-size: 2em; color: red; margin: 0 auto;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     (取組2) 新規商品販路開拓支援                      【取組1で〇〇したものを△△するために〇〇する】                 </div> <div style="font-size: 2em; color: red; margin: 0 auto;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     (取組3) 〇〇を用いた情報発信                      【取組2において〇〇したものを〇〇する】                 </div> </div>
<p>中間支援活動の実施体制</p>	<p><b>【実施体制図】</b> (下図は一例であり、書き方は自由です。)</p> <pre>                 graph TD                     A[〇〇〇〇〇〇〇〇] --- B[△△信金]                     A --- C[NPO法人〇〇]                     A --- D[□□市役所]                     A --- E[〇〇研究所]                     B --&gt; F[NPO☆☆]                     C --&gt; F                     D --&gt; F                     E --&gt; F                     B == 連携 == E                     C == 連携 == E                     D == 連携 == E                 </pre> <p>△△信金: ・〇〇を指導 ・××を補助</p> <p>NPO法人〇〇: ・△△を指導 ・□□を補助 ・##を支援</p> <p>□□市役所: ・◎◎を指導 ・●●を支援</p> <p>〇〇研究所: ・〇〇を指導 ・××を提供</p>

	<p>【実施体制及び構成主体間の連携の考え方】          本事業は NP0〇〇と△△信金と□□市が連携して取り組むもので、取組1では NP0〇〇と△△信金が中心となり、〇〇〇を行い、取組2では〇〇〇である。</p>	
	<p>【構成主体間、地域づくり活動団体との調整状況】          △△信金と□□市役所とはすでに〇〇〇の点で調整が済んでおり、〇〇〇〇〇〇研究所には現在調整中であるが、おおむね内容は理解いただいております。担い手である NP0☆☆には昨年度より支援事業を行っている関係から〇〇〇となっている。</p>	
補助希望額	〇〇〇 円	
当該事業における中間支援活動のスケジュール	年度	活動内容
	平成 26 年度	上記の取組を実施する。
	平成 27 年度	平成 26 年度の取組をさらに発展させ、販路の拡大を図る。想定しているのは〇〇地域において2店舗を出店する。
	平成 28 年度	平成 26 年度に開発したもののノウハウを活かし〇〇〇を行う。
他の主体との連携	構成主体名	活動内容
	一般財団法人 〇〇研究所	商品開発に向けた〇〇〇の分析を依頼する。
地域づくり活動支援体制の事業計画	<p>【平成 26 年度】          事業名：□□地域における〇〇を活用した△△の開発に対する中間支援活動          内容：△△を開発し、△△として〇〇に役立てる〇〇〇する。          実施期間：平成 25 年～26 年          実施場所：〇〇市△△地区          活動費用：〇〇から△△を募り、×××とともに〇〇が△△を負担する。</p>	
	<p>【平成 27 年度以降】          &lt;事業 1 &gt;          事業名：□□地域における〇〇を活用した△△の開発に対する中間支援活動          内容：H26 の取組を発展させ、〇〇を行う活動を NP0〇〇と△△信金と□□市が連携して支援する。          実施期間：H26～H28          活動費用：△△信金からの融資、担い手の負担、〇〇          &lt;事業 2 &gt;          事業名：〇〇地区における高齢者を対象とした△△サービス支援のための中間支援活動          〇〇〇…          &lt;事業 3 &gt;          〇〇〇          〇〇〇…</p>	

※枚数制限はありませんが、簡潔かつ具体的に記載してください。



平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <地域づくり活動の事業計画>

項目	記入欄		
活動対象地域の概要及び認識する地域課題	<b>【地域の概要】</b> 当該地域は〇〇〇高齢化が課題であり、〇〇〇過疎化が△△で課題として〇〇や△△が著しく、〇〇が緊急の課題となっている。		
地域づくり活動の内容等	<b>【地域づくり活動主体の概要】</b> NPO 法人☆☆は農家や農協関係者から構成されており〇〇〇主に特産野菜を使った商品を〇〇〇している。 <b>【地域づくり活動の概要及び事業型であることの説明】</b> 今回応募する事業はこれまでのノウハウを活かし〇〇〇野菜で〇〇〇を販売する見通しがあり〇〇〇収益を得られることから〇〇〇を実施する。 <b>【地域づくり活動を実施することにより得られると思われる効果・成果・目指すもの】</b> 地元特産野菜の良さを広めることで〇〇〇し、全国の人に認知され観光客増加や〇〇〇ひいては地域活性化のため〇〇〇となる。		
これまでの活動経過等	<b>【活動経過】</b> NPO 法人☆☆は特産野菜を用いて 6 次産業化目指した取組を続けており、〇〇〇の開発を行っており、また〇〇〇を行っている。 <b>【活動実施にあたっての制約・課題】</b> □□市は台風が襲来する回数が多いため、農作物が収穫できない場合がある。ただし、万が一農作物が採れなくても代替りの〇〇〇を使って〇〇〇を行うことが可能である。		
活動スケジュール	年度	活動内容	
	平成 26 年度	特産野菜を用いた商品開発を行い、それと並行して〇〇〇〇〇〇の体験ツアーを〇〇〇する。	
	平成 27 年度	新たな〇〇〇の開発を行い、新規の販路開拓を見据えて〇〇〇ツアーの本格始動することにより〇〇〇を行う。	
	平成 28 年度	販路の拡大を行い、他の NPO との連携により〇〇〇を行う。	
成果目標	項目	現状	平成 26 年度目標
	新規商品の売り上げ	—	年間 100 万円
	観光ツアーの参加者	年間 500 人	年間 1000 人
	NPO 法人☆☆の雇用者	5 人	10 人

※枚数制限はありませんが、簡潔かつ具体的に記載してください。



平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <必要経費の内訳>

応募団体名	○○○○○○○○				
事業名	○○商品の開発に対する中間支援活動				
必要経費合計（8%税込）	2,575,000 円				
必要経費の内訳					
各取組の名称	取組○ 地元特産野菜を使った新規商品開発支援				
項目	単位	数量	単価	項目合計（税込）（円）	備考
① 謝金	人・回	3	20,000	60,000	中小企業診断士による経営計画に関する指導 1 名×3 回、
	人・回	5	15,000	75,000	フードコーディネーターによる商品開発に関する指導 1 名×5 回
	人・回	6	25,000	150,000	デザイナーによる商品のパッケージデザインに関する指導 1 名×6 回
② 旅費	回	3	50,000	150,000	中小企業診断士 1 名に要する交通費（沖縄⇄大阪）×3 回、
	回	5	100,000	500,000	フードコーディネーター 1 名に要する交通費（沖縄⇄北海道）×5 回
	回	6	60,000	360,000	デザイナー 1 名に要する交通費（沖縄⇄神戸）×6 回
③ 会議費	回	5	50,000	250,000	会場借上げ費 50,000 円×5 回
④ 通信運搬費	回	5	10,000	50,000	調理機材運搬費 10,000 円×5 回
⑤ 広報費	枚	1000	100	100,000	チラシ 1 枚 100 円×1,000 枚
⑥ 借料・損料・使用料	月	10	3,500	35,000	PC のレンタル料 1 月 1,500 円×10 ヶ月
⑦ 外注費	式	1	500,000	500,000	マーケット市場調査を行うための外注費
⑧ 賃金	人・日	15	9,000	135,000	アルバイト日当 9,000 円×3 人×5 日
⑨ 消耗品費	個	10	5,000	50,000	コピー機トナー 1 個 5,000 円×10 個
	個	10	4,500	45,000	インクカートリッジ 1 個 4,500 円×10 個
⑩ 雑役務費	回	10	300	3,000	送金手数料
⑪ 報告会経費	人	2	26,000	52,000	成果報告会に参加するための交通費（東京⇄神戸）



⑫ 印刷製本費	冊	20	3,000	60,000	報告書の印刷製本に係る費用 1冊 3,000円 × 20冊
合 計				2,575,000	

※各取組ごとに作成をお願いします。

平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <全体収支計画>

(平成 26 年度分)

	費 目	金 額 (円)
収 入	当該補助金	3,000,000 円
	寄付金	300,000 円
	会費収入	1,500,000 円
	合 計 (A)	4,800,000 円
支 出	補 助 事 業	
	(補助対象)	
	・ 取組 1	2,575,000 円
	・ 取組 2	247,000 円
	・ 取組 3	178,000 円
	(補助対象外)	
	・ 耐久消費財	150,000 円
	・ 事務所借料	1,000,000 円
	・ 懇親会経費	50,000 円
	小 計 (B)	4,200,000 円
その他の事業		
□□市活性化のための 人材育成事業	500,000 円	
次年度への繰り越し	100,000 円	
小 計 (C)	600,000 円	
収 支 計	(A) - ((B) + (C))	0 円

取組みが3つあ  
ることを仮定し  
てのもの

平成 26 年度 地域づくり活動支援体制整備事業  
 <他の補助・支援事業等>

他の支援事業との重複を避けるため、本事業で応募する中間支援活動または中間支援の対象となる地域づくり活動について国・地方公共団体の補助事業、公益法人等が実施している支援事業等に、今年度応募予定またはすでに応募済み、もしくは今年度すでに採択されたものが含まれている場合は、補助事業の名称、補助事業の実施機関の名称、補助事業の期間、事業名、事業の概要、当該取組との関係を記述して下さい。

項目	記入欄
補助を受けた団体名	NPO 法人〇〇
応募・採択状況	1. 応募予定 2. 応募済み 3. 採択済み 4. 該当なし
補助事業等名称	××地域活性コーディネーター育成事業
補助事業等の実施機関の名称	◆◆省▼▼課
補助事業等の期間	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
事業名	□□市活性化のための人材育成事業
事業の概要	過疎化、高齢化が深刻な問題となっている□□市において〇〇〇地域の活性化が必要なことから〇〇〇を行うこととしているが、そのようなことができる人材を育成するために〇〇〇を行う。平成 26 年度は 100 万円の補助を受ける予定で〇〇〇を行う。
当該取組との関係	当該取組は人材育成を行う事業であり具体的には〇〇〇を行う。地域活性化という最終目的は同一であるが本事業との関係は〇〇〇となっていることから、〇〇〇である。